

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・開所6年目を向えて、職員の入れ替わりも半分あり、もう一度理念を全職員で話し合い、見直す時期に来ています。 ・地域をまき込んだ基本方針を新たに作る必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の再確認を全職員とする。 ・地域をまき込んだ基本方針の決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が理念を理解し、入居者との日常生活の中に反映させる。 ・地域に根ざしたホームのあり方を皆で考える。(行事への参加又はホームの行事に今まで以上に参加を促す。) 	6ヶ月
2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・安全が保てない入居者に対して車椅子移動時にベルトをすることがあった。 ・日頃何気なく行っている事が、言葉による入居者への指示や威圧感として出てくることがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の具体的な行為を職員全員が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の講演会の資料を職員に配布し、理解を深める勉強会をする。 	6ヶ月
3	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル期の入居者は、現在いないが特養入居をしないで当ホームでの暮らしの継続を希望する家族もいるので、将来に向けての意思統一は必要になってきています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状態の変化及び家族の状況に合わせてケアのあり方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士でターミナル期について話す機会を持ち、入居者及びご家族の意向も考慮にいれて、ミーティングを行う。 ・看取り経験のあるスタッフ及び外部より招いて勉強会を行う。 	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。